

No.	007	—	2001	事務事業名	川内保育園運営管理業務	細事務事業名		公的関与	5					
PLAN	課名	子育て支援室	係名	川内保育園	電話番号	089-964-4406	メールアドレス	syakaifukushi@city.toon.ehime.jp						
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	5 子育て支援の充実		主要施策	(1)地域における子育て支援の充実					
	事業の対象	保育所施設、入所児童				根拠法令								
	事業の目的	最終的	保育計画や個別の指導計画に基づく保育実践により児童の健全育成を図るとともに、児童が健康で安全な保育所生活が送れる環境を整備し、効率的な保育所運営に努めます。			今年度	同上							
	活動内容	①	施設管理			④	児童の危機管理							
		②	環境整備			⑤	給食業務							
		③	児童の健康管理											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標				
		消防設備や遊具の点検。		児童の安全を確保するため、関係設備について日々の点検が必要です。		日	目標	開所日	開所日	開所日				
内科検診や歯科検診等児童の健康管理。		児童の健全育成のため、日々の健康管理と、健康診断等定期検診が必要です。		回	目標	各年2回	各年2回	各年2回						
所長会、主任会、給食検討会の開催と保育士の各種研修会への参加。		保育所間の連携を密にし、保育士の資質向上を図る必要があります。		回	目標	定期	定期	定期						
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	民生								
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考								
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円									
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円									
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円									
	計(A)	0 千円	0 千円	0 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	17.000 人	128,418 千円	23.000 人	173,374 千円	21.000 人	155,232 千円						
		臨時職員工数・経費	4.500 人	7,700 千円	5.400 人	9,191 千円	4.000 人	6,720 千円						
	全体事業費(A+B)		136,118 千円	182,565 千円	161,952 千円									
CHECK・ACTION	一次評価者	川内保育園	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	核家族化、女性の社会進出等により、特に乳幼児の保育需要が急増しています。												
	有効性	児童福祉法最低基準に基づき実施しています。												
	達成度	当初の目標を達成しています。												
	効率性	定員を超える入所児童数があり、効率的に運営されています。												
	当面の課題	急増する保育需要に対して、保育士の確保が大きな課題となっています。												
	改革計画	嘱託保育士の雇用条件の改善と正規職員の増員が必要です。												
二次評価者	社会福祉課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持	
二次評価での指摘事項	児童福祉施設最低基準及び保育所保育指針に基づき、保育に欠ける児童を預かり療育するために必要な施設です。今後、多様化するニーズに応えるためには、人材の確保が不可欠でありその待遇改善が必要です。													

No.	007	—	3001	事務事業名	双葉保育所運営管理業務	細事務事業名		公的関与	5				
PLAN	課名	子育て支援室	係名	双葉保育所	電話番号	089-964-4406	メールアドレス	syakaifukushi@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	5 子育て支援の充実		主要施策	(1) 地域における子育て支援の充実				
	事業の対象	保育所施設、入所児童				根拠法令							
	事業の目的	最終的	保育計画や個別の指導計画に基づく保育実践により児童の健全育成を図るとともに、児童が健康で安全な保育所生活が送れる環境を整備し、効率的な保育所運営に努めます。			今年度	同上						
	活動内容	①	施設管理			④	児童の危機管理						
		②	環境整備			⑤	給食業務						
		③	児童の健康管理										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標			
		消防設備や遊具の点検。		児童の安全を確保するため、関係設備について日々の点検が必要です。		日	目標	開所日	開所日	開所日	開所日		
内科検診や歯科検診等児童の健康管理。		児童の健全育成のため、日々の健康管理と、健康診断等定期検診が必要です。		回	目標	各年2回	各年2回	各年2回	各年2回				
所長会、主任会、給食検討会の開催と保育士の各種研修会への参加。		保育所間の連携を密にし、保育士の資質向上を図る必要があります。		回	目標	定期	定期	定期	定期				
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	民生				費			
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円								
	計(A)	0 千円	0 千円	0 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	21.000 人	158,634 千円	23.000 人	173,374 千円	23.000 人	170,016 千円					
		臨時職員工数・経費	4.200 人	7,186 千円	4.400 人	7,489 千円	5.000 人	8,400 千円					
	全体事業費(A+B)		165,820 千円	180,863 千円	178,416 千円								
一次評価者	双葉保育所	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	核家族化、女性の社会進出等により、特に乳幼児の保育需要が急増しています。また、今後について地域内の大規模宅地開発にともなう乳幼児の増加が見込まれます。												
有効性	児童福祉法最低基準に基づき実施しています。												
達成度	当初の目標を達成しています。												
効率性	定員を超える入所児童数があり、効率的に運営されています。												
当面の課題	急増する保育需要に対して、保育士の確保が大きな課題となっています。また、施設の拡張や定員の増加についても検討する必要があります。												
改革計画	嘱託保育士の雇用条件の改善と正規職員の増員が必要です。購入用地については、平成23年度に造成工事を実施します。												
二次評価者	社会福祉課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	児童福祉施設最低基準及び保育所保育指針に基づき、保育に欠ける児童を預かり療育するために必要な施設です。今後、多様化するニーズに応えるためには、人材の確保が不可欠でありその待遇改善が必要です。												

No.	007	—	4001	事務事業名	南吉井保育所運営管理業務	細事務事業名		公的関与	5					
PLAN	課名	子育て支援室	係名	南吉井保育所	電話番号	089-964-4406	メールアドレス	syakaifukushi@city.toon.ehime.jp						
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	5 子育て支援の充実		主要施策	(1) 地域における子育て支援の充実					
	事業の対象	保育所施設、入所児童				根拠法令								
	事業の目的	最終的	保育計画や個別の指導計画に基づく保育実践により児童の健全育成を図るとともに、児童が健康で安全な保育所生活が送れる環境を整備し、効率的な保育所運営に努めます。			今年度	同上							
	活動内容	①	施設管理			④	児童の危機管理							
		②	環境整備			⑤	給食業務							
		③	児童の健康管理											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標				
		消防設備や遊具の点検。		児童の安全を確保するため、関係設備について日々の点検が必要です。		日	目標	開所日	開所日	開所日				
内科検診や歯科検診等児童の健康管理。		児童の健全育成のため、日々の健康管理と、健康診断等定期検診が必要です。		回	目標	各年2回	各年2回	各年2回						
所長会、主任会、給食検討会の開催と保育士の各種研修会への参加。		保育所間の連携を密にし、保育士の資質向上を図る必要があります。		回	目標	定期	定期	定期						
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	民生 費								
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考								
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円									
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円									
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円									
	計(A)	0 千円	0 千円	0 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	16.000 人	120,864 千円	16.000 人	120,608 千円	19.000 人	140,448 千円						
		臨時職員工数・経費	3.600 人	6,160 千円	4.500 人	7,659 千円	5.000 人	8,400 千円						
	全体事業費(A+B)		127,024 千円	128,267 千円	148,848 千円									
CHECK・ACTION	一次評価者	南吉井保育所	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	核家族化、女性の社会進出等により、特に乳幼児の保育需要が急増しています。												
	有効性	児童福祉法最低基準に基づき実施しています。												
	達成度	当初の目標を達成しています。												
	効率性	定員を超える入所児童数があり、効率的に運営されています。												
	当面の課題	急増する保育需要に対して、保育士の確保が大きな課題となっています。												
	改革計画	嘱託保育士の雇用条件の改善と正規職員の増員が必要です。												
二次評価者	社会福祉課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持	
二次評価での指摘事項	児童福祉施設最低基準及び保育所保育指針に基づき、保育に欠ける児童を預かり療育するために必要な施設です。今後、多様化するニーズに応えるためには、人材の確保が不可欠でありその待遇改善が必要です。													

No.	007	—	5001	事務事業名	南吉井第二保育所運営管理業務	細事務事業名		公的関与	5				
PLAN	課名	子育て支援室	係名	南吉井第二保育所	電話番号	089-964-4406	メールアドレス	syakaifukushi@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	5 子育て支援の充実		主要施策	(1) 地域における子育て支援の充実				
	事業の対象	保育所施設、入所児童				根拠法令							
	事業の目的	最終的	保育計画や個別の指導計画に基づく保育実践により児童の健全育成を図るとともに、児童が健康で安全な保育所生活が送れる環境を整備し、効率的な保育所運営に努めます。			今年度	同上						
	活動内容	①	施設管理			④	児童の危機管理						
		②	環境整備			⑤	給食業務						
		③	児童の健康管理										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標			
		消防設備や遊具の点検。		児童の安全を確保するため、関係設備について日々の点検が必要です。		日	目標	開所日	開所日	開所日	開所日		
内科検診や歯科検診等児童の健康管理。		児童の健全育成のため、日々の健康管理と、健康診断等定期検診が必要です。		回	目標	各年2回	各年2回	各年2回	各年2回				
所長会、主任会、給食検討会の開催と保育士の各種研修会への参加。		保育所間の連携を密にし、保育士の資質向上を図る必要があります。		回	目標	定期	定期	定期	定期				
					実績	〃	〃						
					実績	〃	〃						
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	民生				費			
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円								
	計(A)	0 千円	0 千円	0 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	16.000 人	120,864 千円	19.000 人	143,222 千円	19.000 人	140,448 千円					
		臨時職員工数・経費	4.800 人	8,213 千円	5.100 人	8,680 千円	6.000 人	10,080 千円					
	全体事業費(A+B)		129,077 千円	151,902 千円	150,528 千円								
一次評価者	南吉井第二保育所	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	核家族化、女性の社会進出等により、特に乳幼児の保育需要が急増しています。また、松山市に隣接していることから、広域の保育依頼が多くあります。												
有効性	児童福祉法最低基準に基づき実施しています。												
達成度	当初の目標を達成しています。												
効率性	定員を超える入所児童数があり、効率的に運営されています。												
当面の課題	急増する保育需要に対して、保育士の確保が大きな課題となっています。												
改革計画	嘱託保育士の雇用条件の改善と正規職員の増員が必要です。												
二次評価者	社会福祉課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	児童福祉施設最低基準及び保育所保育指針に基づき、保育に欠ける児童を預かり療育するために必要な施設です。今後、多様化するニーズに応えるためには、人材の確保が不可欠でありその待遇改善が必要です。												

No.	007	—	6001	事務事業名	拝志保育所運営管理業務	細事務事業名		公的関与	5					
PLAN	課名	子育て支援室	係名	拝志保育所	電話番号	089-964-4406	メールアドレス	syakaifukushi@city.toon.ehime.jp						
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	5 子育て支援の充実		主要施策	(1) 地域における子育て支援の充実					
	事業の対象	保育所施設、入所児童				根拠法令								
	事業の目的	最終的	保育計画や個別の指導計画に基づく保育実践により児童の健全育成を図るとともに、児童が健康で安全な保育所生活が送れる環境を整備し、効率的な保育所運営に努めます。				今年度	同上						
	活動内容	①	施設管理				④	児童の危機管理						
		②	環境整備				⑤	給食業務						
		③	児童の健康管理											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標			
		消防設備や遊具の点検。		児童の安全を確保するため、関係設備について日々の点検が必要です。			日	目標	開所日	開所日	開所日			
内科検診や歯科検診等児童の健康管理。		児童の健全育成のため、日々の健康管理と、健康診断等定期検診が必要です。			回	目標	各年2回	各年2回	各年2回					
所長会、主任会、給食検討会の開催と保育士の各種研修会への参加。		保育所間の連携を密にし、保育士の資質向上を図る必要があります。			回	目標	定期	定期	定期					
						実績	〃	〃						
						実績	〃	〃						
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	民生							
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考								
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円									
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円									
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円									
		計(A)	0 千円	0 千円	0 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	10.000 人	75,540 千円	10.000 人	75,380 千円	14.000 人	103,488 千円						
		臨時職員工数・経費	0.900 人	1,540 千円	1.900 人	3,234 千円	3.500 人	5,880 千円						
	全体事業費(A+B)		77,080 千円	78,614 千円	109,368 千円									
CHECK・ACTION	一次評価者	拝志保育所	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	地域の児童数は減少していますが、乳幼児の保育需要は増加しています。また、待機児童解消のための受け皿となっています。												
	有効性	児童福祉法最低基準に基づき実施しています。												
	達成度	当初の目標を達成しています。												
	効率性	効率的に運営されています。												
	当面の課題	今後、上林保育所の入所児童数が減少(10人未満)すれば、改めて統合について検討する必要があると思われます。												
	改革計画	統合ならば、地域住民の理解とトップダウンによる決定が必要です。また、延長保育や土曜午後保育等サービス向上について検討が必要です。												
二次評価者	社会福祉課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
二次評価での指摘事項	児童福祉施設最低基準及び保育所保育指針に基づき、保育に欠ける児童を預かり療育するために必要な施設です。今後、多様化するニーズに応えるためには、人材の確保が不可欠でありその待遇改善が必要です。													

No.	007	—	7001	事務事業名	上林保育所運営管理業務	細事務事業名		公的関与	5				
PLAN	課名	子育て支援室	係名	拝志保育所	電話番号	089-964-4406	メールアドレス	syakaifukushi@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	5 子育て支援の充実		主要施策	(1)地域における子育て支援の充実				
	事業の対象	保育所施設、入所児童				根拠法令							
	事業の目的	最終的	保育計画や個別の指導計画に基づく保育実践により児童の健全育成を図るとともに、児童が健康で安全な保育所生活が送れる環境を整備し、効率的な保育所運営に努めます。			今年度	同上						
	活動内容	①	施設管理			④	児童の危機管理						
		②	環境整備			⑤	給食業務						
		③	児童の健康管理										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標			
		消防設備や遊具の点検。		児童の安全を確保するため、関係設備について日々の点検が必要です。		日	目標	開所日	開所日	開所日			
内科検診や歯科検診等児童の健康管理。		児童の健全育成のため、日々の健康管理と、健康診断等定期検診が必要です。		回	目標	各年2回	各年2回	各年2回					
所長会、主任会、給食検討会の開催と保育士の各種研修会への参加。		保育所間の連携を密にし、保育士の資質向上を図る必要があります。		回	目標	定期	定期	定期					
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	民生							
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円								
	計(A)	0 千円	0 千円	0 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.000 人	7,554 千円	1.000 人	7,538 千円	1.000 人	7,392 千円					
		臨時職員工数・経費	2.000 人	3,422 千円	1.500 人	2,553 千円	2.000 人	3,360 千円					
	全体事業費(A+B)		10,976 千円	10,091 千円	10,752 千円								
一次評価者	拝志保育所	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	今後、地域の児童数が減少し、効率的な運営が難しくなってくれば、存続について検討する必要があります。												
有効性	児童福祉法最低基準に基づき実施しています。												
達成度	当初の目標を達成しています。												
効率性	入所児童数が少ないため、児童1人当りのコストは高くなります。												
当面の課題	今後、入所児童数が減少(10人未満)すれば、拝志保育所への統合について改めて検討する必要があると思われます。												
改画	廃止には、地域住民の理解とトップダウンによる決定が必要です。												
二次評価者	社会福祉課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	児童福祉施設最低基準及び保育所保育指針に基づき、保育に欠ける児童を預かり療育するために必要な施設です。今後、多様化するニーズに応えるためには、人材の確保が不可欠でありその待遇改善が必要です。												